

生駒北小学校

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日（木）に全国の小学6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の本校の結果についてお知らせします。

本校と奈良県、全国の平均の差は表1の通りです。学力調査は、教科の平均点の上下で一喜一憂するためのものではありません。今年度の結果を見ながら、子どもたちにつけたい学力が何で、本校はどんなところが苦手なのかを考え、今後の指導に活かしていきたいと思えます。

表1	本校（北小）	奈良	全国
国語	70	67	67.7
算数	68	63	63.4

【国語】

国語は全体的に奈良県、全国の平均を上回りました。観点別に見てみると「話すこと・聞くこと」は7%ほど下回っています。

どんな問題かという「オンラインで交流する場面における話し方の工夫として適切なものを選択する問題」でした。本校正答率33.3%で、奈良県では53.7%、全国では52.9%です。資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる「話す・聞く」の問題ではあるのですが、「読む」にも繋がる問題でした。今年度の本校の研修テーマは『付けたい力を育む「読むこと」の学習活動の創造』です。様々な見方・考え方を意識した読みができる児童の育成を目指したいと考えます。

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
				貴校	奈良県（公立）	全国（公立）
全体			14	70	67	67.7
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	4	70.8	64.2	64.4
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	100.0	86.6	86.9
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	83.3	70.8	74.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	52.8	60.3	59.8
		B 書くこと	2	72.9	67.0	68.4
		C 読むこと	3	68.1	67.6	70.7

【算数】

算数は全体的に奈良県、全国の平均を上回りました。観点別に見ると奈良県、全国をほぼ上回っておりますが、「変化と関係」のみ全国と比べて0.3%下回りました。

特に正答率の低かった問題が、「3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く」です。本校の正答率は54.2%で奈良県69.3%、全国70.0%でした。また、20.8%の児童が、解答例にない答えを出していました。（解答例 300、10、60、600、540、5400、10800）

速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる問題でしたが、子どもたちは文章を読んで速さを考える問題と判断し難しく考えてしまった様子が想像できます。国語とも繋がりますが、やはり読む力が重要だと感じます。

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	奈良県（公立）	全国（公立）
全体		16	68	63	63.4
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	66.7	65.4	66.0
	B 図形	4	79.2	66.7	66.3
	C 測定	0			
	C 変化と関係	3	51.4	51.2	51.7
	D データの活用	4	65.6	62.4	61.8

【児童質問調査】

この調査結果からは、児童の気になる部分、反対に素晴らしい部分も見られました。

「将来の夢や目標を持っていますか」という問いに対し奈良県80.7%、全国82.4%で本校は87.5%の児童が当てはまる及びどちらかといえば当てはまると回答していました。また、「人が困っているときは、進んで助けていますか」では、奈良県92.8%、全国92.7%に対し、本校は95.8%と高い数字でした。

自分の将来の夢をしっかり持つということはとても素晴らしいことと思いますし、人が困っていれば手を差し伸べる優しさ、相手を思いやる心を持つことは人として一番大切なことと思います。

反対に「自分には、よいところがあると思いますか」という問いでは、奈良県83.7%、全国84.1%に対し本校は、79.1%と少し低かったです。

これからも、自分も相手も大切に、自分に自信を持てる児童が増えて、未来を切り開く児童の育成を目指した学校づくりを進めていきます。